

令和4年度  
第61期特別体育課程（第2教育課）

# 入校式



## 新たな目標に向け

# 躍動

\*撮影時のみマスクを外しています



学校長 豊田 真 陸将補

令和4年4月9日（土）第61期特別体育課程（第2教育課）入校式が、自衛隊体育学校三宅記念体育館（朝霞駐屯地）で挙行された。

未だ続く新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しつつ、関係協力団体、競技団体の代表者、東京地方協力本部長をはじめとする自衛隊関係職員及び新規体育特殊技能者の家族等を招待し、厳正に執り行われた。

今期の入校者は、第60期からの継続者124名に集合訓練から選抜された17名、今年度新たに体育特殊技能者として採用された14名を加えた155名となった。

式では、各種別班ごとに監督が一人ひとり学生の名前を呼び上げ紹介し、学生を代表して射撃班の松本崇志1等陸尉が力強く申告を実施した。



後援会会長 富澤 賢 氏

式辞で豊田真学校長が入校学生に対し「皆は選ばれたアスリートである。皆の人生はアスリートとしての成功の如何がそれぞれの人生の充実に強く繋がっている。つまり、アスリートとしての輝きが強ければ強い程、みんなの人生の輝きは強くなるということである。アスリートでいられる時間は短く、そして限られている。限られた時間を大切に、強い自覚と真摯な鍛錬の積み重ねにより初志を貫徹し、夢を実現して貰いたい。」と力強く激励した。



新規入校学生代表挨拶をする  
レスリング班 石黒 隼士2 陸曹

そして来賓を代表して後援会会長の富澤賢氏、校友会会長の保坂一彦氏及び第17代学校長の三宅義信氏から祝辞をいただいた。三宅氏からは「新規入校学生は色々な形で不安があると思う。しかしその不安を乗り越えて自分の夢に向かって邁進し自衛官としての自覚と誇りを忘れないで欲しい。心技体の精神、勝負に負けても己に勝てという精神を持ってそれぞれの夢に向かって頑張ってもらいたい。」と大先輩からのメッセージをいただいた。



校友会会長 保坂 一彦 氏

新規入校学生が一人ひとり自分の目標を述べた後、レスリング班の石黒隼士2等陸曹が代表して「歴史と伝統ある自衛隊体育学校特別体育課程に入校できることを誇りとし、自衛官アスリートとしての自覚と支援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、それぞれの競技において世界の舞台上で活躍できることを目標に努力します。」と決意を述べた。

また先輩アスリートを代表して東京五輪メダリストの柔道班の濱田尚理1等陸尉は「それぞれ競技は違いますが、同じ体育学校の仲間として絆を大切に一緒にパリ五輪を目指して頑張らしましょう。」と激励の言葉を贈った。



第17代学校長 三宅 義信 氏



(第2教育課) 入校者

激励を贈る東京五輪メダリスト  
左から、柔道班 濱田 尚理1 陸尉  
レスリング班 乙黒 拓斗2 陸曹  
ボクシング班 並木 月満3 陸曹

